

がん しん 眼振の検査 (眼の動きをみる検査)

検査時間
10分

〇めまいとは

めまいとは、自分や周囲のものが動いてないのに動いているように感じる感覚です。体のバランスは、眼・内耳・手足の関節や筋肉にある位置感覚などの情報が脳に送られ、いろんな情報を統合して微妙にコントロールされています。もしこのどれかの具合が悪くなると、情報の統合やバランスの調節がうまくいかなくなりめまいを起こすのです。

〇めまいと耳との関係

めまいの原因のうちかなり多くのものが耳(内耳)の病気です。内耳には体のバランスを保つために必要な耳石器と三半規管という器官がありますが、聞こえに必要な蝸牛(かぎゅう)という器官も近くにあります。これらは一つの管でつながっていて、そのため内耳の病気でめまいが起こっている場合、しばしば聞こえにも変化が現れます。

がん しん 〇眼振とは

内耳では「頭が動いている」「頭が回転している」などの情報を感じています。この情報が眼の動きを調節して、頭が動いても周りのものがブレずにしっかり見ることが出来るのです。左右両方の内耳の情報から眼の動きを調節しているため、どちらか片方の内耳に異常が起こると、眼の動きをうまくコントロールする事ができなくなります。そのため、めまいが起きた時など眼の動きに乱れを生じます。これを眼振といいます。眼振を見ることで内耳の働きを詳しく分析する事ができます。

〇検査方法

写真1 注視眼振検査



正面・左右・上下をジッと見た時の眼の動きを観察します。眼振の有無や、両目の動きが揃っているかなどを見ていきます。眼球がスムーズに動くか、ものがブレて見えないかなどを確認します。

写真2 非注視眼振検査



暗い部屋で特殊な眼鏡(中に暗いところでも映るCCDカメラがついています)を付けてモニターに映し、眼振の有無を観察します。この他にもベッドであおむけになったり、寝たり起きたりをして眼振を観察します。